

祝・創立 50 周年

心身ともに健康で輝く
高齢者の生きがいづくりを支えて

根室市老人クラブ連合会



「高齢者健康ウォーキング」には 170 人が参加(明治公園)

ささえあいの地域づくり情報誌

ささえあい

2020.10 第 9 号

発行：社会福祉法人
根室市社会福祉協議会
(生活支援体制整備事業)

〒087-0008

根室市有磯町 2-6

☎ 24-0381

FAX 24-0551



合い言葉は

少しでも

おせっかい

全国老人クラブメインテーマ

「のぼそう！健康寿命、

担おう！地域づくりを」

一般社団法人根室市老人クラブ連合会(略称・市老連)は昭和45年、すでに結成されていた単位クラブ(8クラブ)をもって設立、今年で創立50周年を迎えました。会員数は令和2年4月1日現在で49クラブ、総会員数1,522人(男性569人、女性953人)。

昭和55年には根室市高齢者福祉事業団、同63年に婦人部設立。これまで、春・秋の「研修と交流の集い」や健康ウォーキング&野外交流会、健康づくりパークゴルフ大会、体力測定会、花壇整備、高齢者の祭典「ねんりんピック」など幅広い事業を展開してきました。

しかし、最盛期には65クラブ、2,700人を数えた会員も近年は少子高齢化などで減少。また、今年は新型コロナウイルス感染症予防のため、50周年記念事業を含めたほとんどの行事が中止に。

その中で感染予防に努めた屋外行事の健康ウォーキングには毎回160~170人が集まり、仲間との久々の再会を喜び合いました。

宮谷内亮一会長は「健康寿命を延ばし、豊かな経験と知識で地域社会に貢献するのが目標。高齢者が生きがいを持ち、活躍できる場を作ることが市老連の大きな役割です」。織田勝洋事務局長は「若い世代の加入を呼びかけ、より多くの方が参加できるような事業を今後も考えていきたい」と51年目に向け、決意も新たにしています。

※市老連の各種事業は、老人クラブに加入していなければ参加できません。入会の申し込み・問い合わせは根室市老人福祉センター内(光洋町1-65)市老連事務局(24-4094)まで。



宮谷内 亮一 会長



織田 勝洋 事務局長

～木枯らし吹く季節になりました～

今年は

手編み

に挑戦してみませんか？

根室市内に「手あみサークルあむあむ」があるのをご存知ですか？
「先生の指導で自分の好きな物が編めます」「時間に余裕のある時期だけ通えます」「講師資格も取れますよ」など、編み物を楽しみながらあなたの希望を叶えてくれます。今まで自己流で編んできた人、編み物を基礎から習いたい人、途中で挫折していた人…。今年こそ、世界に一つだけの一枚を編んでみませんか？



作品を手に福田講師（前列右）と会員

同会は市公民館主催の成人学校の受講生により、平成24年に結成されました。公益財団法人 日本手芸普及協会の手編み師範・福田明子さんが講師を務め、現在会員は15人。手編みなら、かぎ針編み、棒針編み、アフガン編みなどなんでも習えます。また、希望者はテキストを使って講師の資格を取得することもできます。



例会日には編み物好きの仲間が集まり、編んでいる作品を手に、あちこちで“編み物談義”が始まります。

現在、講師資格に挑戦している曾又裕子さんは「目標があれば努力できるし、レベルアップにつながる」と話す。編み物は昔から好きだったが、本人いわく“我流”だった。「自己満足で終わり、良い製品はできない。先生の指導を受けると確実に技術が上がります。私はここ（サークル）があって、本当に有難いと思っています」と力をこめる。

代表の吉田紀子さんは、60代まで働き、退職後に入会。「時間に余裕ができたから。今まで自己流で編み物をしていて、基礎的なことを習いたいと思ったの」。同会の魅力を同うと「好きなことができて、楽しく仲間と交流できる」。和気あいあいとした雰囲気、とても居心地が良いという。

講師の福田さんは、成人学校でベスト作りを指導したが、参加者に8種類の柄からそれぞれ好きなものを選ばせたそう。昔も今もその人の“好き”や、“やる気”を大切に育み、手作りを志す人たちを優しく支え続けている。

同会は市文化祭で作品を発表し、市民に披露している。

「手あみサークルあむあむ」は毎週第2、第4木曜日（変更する場合あり）、午前10時～12時まで根室市総合文化会館で活動。会費は月1,000円。男女年齢問わず誰でも参加できる。「作品が完成するまで」「冬季間だけ」という入会も可能。児童生徒からも要望があり、ある程度人数が揃えば相談に応じる。同会は「気軽に見学に来て欲しい」と話している。問い合わせは代表の吉田紀子さん（23-2076）まで。